



方面總監統率方針  
任務の完遂

発行所

〒664-0012  
兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1  
電話…072(728)0001

陸上自衛隊

中部方面總監部広報室

# 方面總監直轄部隊

## 中隊長等集合訓練

中部方面隊は、5月9日(木)から10日(金)の間、方面總監直轄部隊中隊長等集合訓練を実施した。

本集合訓練は、總監訓話、最新の上級部隊施策や方面主要事業の趣旨と内容等の徹底により、中隊長等としての隊務運営能力の向上を図る目的で行われた。

總監訓話では、国を護るということ、力と正義、陸上自衛隊と中部方面隊の現状、中隊長等のリーダーシップ、目標の確立と日々の研鑽等について訓話され、中隊長等としての資質を向上させた。

グループ討議では、「内的規範」とは何かをテーマに各グループごと、活発な意見を案出させ、公に奉仕する仕事の重大さ、内的規範を向上させる今後の具体策を共有させた。

中部方面衛生隊による人体シミュレータを用いた第一線救護の訓練研修では、素早く応急処置を行う救護の困難性と処置事項のポイントを肌で感じさせた。

中隊長等は、本訓練を通じ、總監の意図と方面隊の主要施策を確認できた。



總監訓話



第一線救護訓練研修



グループ討議

災害派遣

豚コレラ(愛知県・田原市)

第10師団(師団長 鈴木陸将)は、愛知県田原市で発生した豚コレラに対する愛知県知事からの災害派遣要請を受け、5月17日(金)から今年度3回目の養豚場での防疫活動を実施した。支援活動終了後、愛知県知事からの撤収要請を5月20日(月)に受け活動を終了した。



作業にあたる隊員

### 01JXR 自衛隊統合防災演習

中部方面隊は、5月21日(火)から24日(金)までの間、自衛隊統合防災演習に参加した。

東京五輪・パラリンピック開催中に首都直下地震が発生したとの想定で発災時における指揮幕僚活動等について演練した。

訓練では、迅速な部隊派遣、通過部隊支援及び増援部隊の派遣要領等を検証し、災害対処能力の維持・向上を図った。



派遣される増強幕僚

# 困難を乗り越え栄光を勝ち取れ

## レンジャー集合訓練を開始

中部方面隊の各師旅団は、4月上旬から部隊集合訓練「レンジャー」を実施中である。

「レンジャー」教育は、36歳以下で陸曹・陸士を問わず厳しい資格条件の基準に合格した隊員のみが参加でき、陸上自衛隊で最も過酷な訓練の一つと言われている。

前段の訓練では、必要な気力・体力を養成するとともに、地図判読、水路潜入、生存技術、ロープ技術等を体得させ、行動訓練（錯雑地や急峻な山道を行動する訓練）に必要な体力を身につけさせる。

後段の訓練では、各種状況下を含めた想定のもと行動訓練を実施する。この間、戦闘に必要な重装備等を携行させ、不眠不休の中、地図及びコンパスを頼りに付



体力調整

与された任務遂行のため道なき道を行動させる。訓練に臨み、どんな過酷な訓練もダイヤモンドのような固い意志を持って任務を完了できた証である、レンジャーの章を獲得するまで、同期達と一致団結してあらゆる困難を乗り越えて生涯の友を得ていく。



ヘリからの降下訓練



水路潜入

## 中国・四国地区自衛隊協力団体長会議

各協力団体相互の連携を確認

5月22日（水）、岡山プラザホテルにおいて、県の自衛隊協力団体（防衛協会、隊友会及び自衛隊家族会）主催により第49回中国・四国地区自衛隊協力団体長会議が開催された。

本会議の結果、4つの議題（①憲法における自衛隊の位置付け等の明確化、②自衛隊の任務・役割に必ず必要な人員・予算の確保、③自衛隊員の処遇改善、④地方自治体の危機管理に対する積極的関与）について採択された意見を政府・与党等に提出することが決定された。

会議に引き続き、岸川総監が、「今後の防衛力そして中部方面隊の活動について」と題して約140名の聴衆者に、防衛計画の大綱、中部方面隊の各種活動状況及び自衛隊の人材育成について講話して喝采を浴びた。

講話終了後に懇親会が行なわれ、各県の自衛隊協力団体等と活発に意見交換を行い、各協力団体相互の連携を確認した。



講話を行う岸川総監

## 駐屯地カウンセラー集合訓練

中部方面総監部は、5月20日（月）から24日（金）までの間、第1回駐屯地カウンセラー集合訓練を伊丹駐屯地で実施した。本訓練は、年5回実施し、約100名の駐（分）屯地カウンセラー要員に必要なカウンセリング技術を付与するものである。訓練では、鬱や自殺に関する基礎知識、傾聴技法、希死念慮の確認などをカウンセリング実習により演練した。訓練終了後は、練度判定が行われ、4名の合格者に担任官より認定証が交付された。



カウンセリング実習

## 組織存立の危機感を共有

地方協力本部長会議（上半期）

中部方面総監部は、5月9日（木）から10日（金）の間、伊丹駐屯地において、令和元年度地方協力本部長会議（上半期）を実施した。

会議では、募集・援護・予備自衛官業務等最新施策の共有を行うとともに、人材確保に関する討議を実施した。総監は訓示において「人材の確保は、自衛隊存立のための最重要課題である。地本長自ら、危機的状況を認識し、各課の努力を集結させ、任務達成に邁進せよ。地本長の強い意志の保持が重要である。」と檄を飛ばし奮起を促した。



総監訓示

# 各駐屯地で記念行事

## 千僧・大津・青野原・高知駐屯地

中部方面隊では、風薫る5月、各部隊・各駐屯地において創隊・創立記念日行事が開催された。



大津駐屯地



千僧駐屯地



青野原駐屯地

式典等は、感謝状贈呈式、観閲式（行進）、訓練展示及び各種イベントなどが行なわれ、周辺地域の方々や自衛隊・隊員がふれあう絶好の機会となっている。

第3師団（千僧駐屯地）の記念日行事では、天候に恵まれ、約1万5千人が来場し、日頃の訓練の一端を見学するとともに、戦車の体験試乗等を楽しんだ。

また、中部方面混成団（大津駐屯地）では、今年4月に入隊した女性自衛官候補生が統制のとれた自衛隊体操で澁刺と成長の証を披露し、約6千人の来場者を魅了した。

青野原駐屯地では約4千5百人、高知駐屯地では約3千



高知駐屯地

人が訪れ、各駐屯地は、終日、多くの来場者で賑わいを見せた。

## 部外有識者との懇談会

4月29日（土）中部方面總監部は、中方防衛懇談会との共催により、第47回「新緑をめぐる会」を伊丹市内の官舎地区において実施した。

今年は、各協力諸団体会長等、藤原伊丹市長、在大使イタリヤ総領事（ルイー・デオダーテイー氏）、在大阪・神戸米國総領事代理（リニング・クレイブ氏）、在大阪ベトナム総領事代理（レ・フイー・ホアン氏）、第3師団長をはじめ、近隣の指揮官等を含む約140名が参加した。

澄みきった青空のもと、和やかな雰囲気の中で盛会に行われた。



総監挨拶

日頃の活動に感謝をこめて



部外有識者等との懇談

## フォトオブザイヤー2018



入選作品紹介  
第14旅団司令部付隊  
2等陸曹 河田 光  
タイトル「即動必遂」



第3特科隊本部  
2等陸尉 中岡 初年  
タイトル「退官の日」

# ふあみさぽ通信 (連載:第30回)

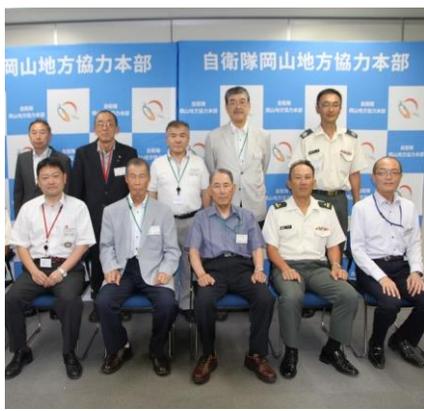
## 三軒屋弾薬支処

関西補給処三軒屋弾薬支処は、昨年5月に開催された岡山県自衛隊家族会の定期総会に初めて出席して家族支援施策の概要を説明し、更なる家族支援への協力を依頼した。

昨年7月と11月には、岡山県自衛隊家族会が主体となり、家族支援調整会議を開催し、岡山県内の災害時における隊員家族の安否確認要領について岡山県自衛隊家族会、同隊友会、自衛隊岡山地方協力本部、日本原駐屯地及び三軒屋駐屯地の五者による認識を統一するとともに、それぞれの団体・部隊等の家族支援に対する取組の現状、懸念事項等を共有して、連携基盤の強化を図った。

これらの活動を通じて、岡山地本O B会についても本家族支援施策に賛同をいただき、参画することとなった。

今年度は、令和の新しい時代の節目と捉え、各関係団体を主体とした「家族支援連携協議会」を設立・協定を締結し、より充実した家族支援態勢を構築して、隊員が安心して任務にまい進できる態勢を築いていく所存である。



第1回家族支援調整会議

## 俺を見ろ



第14普通科連隊  
第4中隊長  
(金沢駐屯地)  
3等陸佐  
奥田 佳央

第14普通科連隊第4中隊長を拝命し、約半年が過ぎました。これまでの間、30部隊実驗(将来に向けた新たな部隊の行動検証)、冬季訓練等を経て、平成31年度4月に第4中隊訓練検閲を受閲しました。中隊長として指揮するに当たり、「指揮の要訣の実践」を心がけています。

検閲では、現場に進出し、企図を確立し、適時適切な命令を与えてその行動を律するよう着意しています。が、部隊の掌握が不十分であったり余計な指示をするなど、自分の力不足や、指揮することの難しさを痛感しているところ です。

さて第14普通科連隊は、金沢駐屯地に所在し、北陸三県の福井、石川、富山の防衛警備等を任務としています。連隊は、昨年度より隊区の地形・地誌等を知らずして郷土を守れないとの認識から、海岸線等を歩く100キロ行進訓練を実施しています。中隊も、富山県西部を担当し、各種事態が発生した場合は、いち早く現場に進出し、救出・救助活動等が実施できるよう行進訓練等を実施しています。演習場での訓練だけでなく、生地における訓練も実施して、あらゆる任務に迅速・的確かつ機動的に対処でき、かつ地域に信頼され頼られる部隊になれるよう精進したいと思えます。

## うちのご飯

### 「青野原駐屯地」



おの恋ホルモン焼きそば

青野原駐屯地は第8高射特科群をはじめとする部隊が所在する駐屯地です。創設当時、駐屯地の住所を新たに「桜台」と名づけることとし、多数の桜の苗木の寄付を受けました。今も4月には数多くの桜が鮮やかに咲き誇ります。

また、小野市、加西市、加東市にまたがる青野ヶ原演習場は、明治22年1月に陸軍の軍馬育成場として発足した後、演習場として使われ、現在は、日々多くの部隊が訓練に使用しています。

駐屯地が所在する小野市は古くからそろばんの生産地として栄え、その職人たちの間でよく食べられた「おの恋ホルモン焼きそば」が名物です。駐屯地の食堂でも、名物献立として鉄板で焼いたホルモン焼きそばを提供しています。特に旨みと甘みの多い小腸を食感のいいそばとあわせて焼いています。甘辛ソースの焼ける香りが好評です。

他のメニューも美味しさを追求しておりますので、是非ともお立ち寄りください。

## おのの★ファミリー



健康係助手業務



新婚旅行

第50普通科連隊  
(高知駐屯地)  
陸士長 奥村 綾乃

私は平成29年4月に一般曹候補生として入隊し、現在は衛生小隊に所属しており、受入後送係を担当しています。

最近、健康係助手として事務的業務をしつつ、産休時の業務の引き継ぎに向けた諸準備をしています。

妊娠中ということで、訓練をはじめ参加できない業務がやや増えますが、上司の方々がとても気にかけて下さるおかげで負担のない範囲で仕事をこなすことができています。また、体調を気遣って下さる方が職場にたくさんいるので、居心地良く過ごすこともできています。

今は夫が陸曹候補生を目指しており、一緒にいる時間が限られ、時に不安を感じることもあります。これから出産や育児と大変になってくると思いますが、これまでの自衛隊生活で培った体力と精神力で子育てを家族みんな楽しんでみたいと思います。

産後、仕事に復帰したら、自分と与えられた任務をしっかりと遂行しようと思えます。